

都市再生整備計画 事後評価シート

堺旧港周辺地区

令和7年3月

大阪府堺市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名		大阪府		市町村名		堺市		地区名		堺旧港周辺地区				面積		34ha		
交付期間		平成30年度～令和4年度		事後評価実施時期		令和6年度		交付対象事業費		837.4		国費率		0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名																
		基幹事業		大浜北町市有地活用事業（道路、地域生活基盤施設（歩行者通路、連絡橋、情報板）、高質空間形成施設（緑地））														
		提案事業		—														
	当初計画から削除した事業	事業名					削除/追加の理由					削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		基幹事業		大浜北町市有地活用事業（地域生活基盤施設（情報板））					当初計画作成以降、本市において当エリアの方向性を示すビジョン等を作成し、当事業の見直しを行ったため					なし				
		提案事業		—					—					—				
	新たに追加した事業	基幹事業		—					—					—				
		提案事業		—					—					—				
交付期間の変更	当初		平成30年度～平成32年度			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			—									
	変更		平成30年度～令和4年度															
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標			単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ 予定時期				
			基準年度		目標年度	モニタリング	評価値											
	指標1	親水性護岸の利用者数	人/年	16,425	H28	58,760	R4		361,846	○	あり なし	歩行者通路、連絡橋整備のほか、関連事業である民間施設（一部）の開業、大浜体育館建替整備、親水護岸整備をしたことにより、利用者が増えたと考える。	R7.11					
	指標2	堺旧港の認知度・魅力度（アンケート）	%	27	H29	50	R4		57.4	○	あり なし	関連事業である民間施設（一部）の開業したほか、大浜体育館での大会やイベント開催、親水護岸での社会実験の実施等による情報発信を行うことにより認知度が向上したと考える。	R7.11					
	指標3	堺駅の乗降客数	千人/年	5,978	H27	7,174	R4		5,517	×	あり なし	○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、発生以降乗降客数が大幅に減少し、現状も回復できていない状況であるが、指標1、2が十分に達成できていることから、今後も引き続き、民間事業者と連携しながら魅力創出、情報発信等に取組む。	R9.6					
	指標4										あり なし							
	指標5										あり なし							
3)その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況	指標			単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ 予定時期				
			基準年度		目標年度	モニタリング	評価値											
	その他の数値指標1																	
	その他の数値指標2																	
その他の数値指標3																		
4)定性的な効果発現状況																		
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等							
	モニタリング		—			都市再生整備計画に記載し、実施できた					—							
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した												
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった												
	官民連携による取組		—			都市再生整備計画に記載し、実施できた					—							
都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した																		
都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった																		
持続的なまちづくり体制の構築		堺市中心市街地活性化協議会の活動への支援			都市再生整備計画に記載し、実施できた					○ 引き続き、堺市中心市街地活性化協議会への支援等を通じて、中心市街地の活性化及びにぎわいの創出に努める。								
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した													
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった													

堺旧港周辺地区(大阪府堺市) 都市再生整備計画事業の成果概要

親水護岸からみる民間施設

堺旧港地区全体

凡例

- 基幹事業
- - - 関連事業

○関連事業
堺泉北海岸高潮対策事業

○関連事業
大浜北町市有地
民間施設整備事業

○関連事業
大浜体育館
建替整備運営事業

○関連事業
大浜北町市有地
下水道整備

■基幹事業
地域生活基盤施設 連絡橋

■基幹事業
道路 周辺道路

■基幹事業
地域生活基盤施設 歩行者通路

■基幹事業
高質空間形成施設 緑地

阪神高速4号湾岸線
大浜出入口

堺旧港

南海本線堺駅

大浜公園

大浜北町市有地

まちの課題の変化	・関連事業である民間施設の開業（一部）や大浜体育館でのイベント、親水護岸での社会実験の実施等により、魅力創出等活性化が図られている。 ・海と市街地を接続する連絡橋を設置することにより、海と市街地との連続性が確保されている。
今後のまちづくりの方策 （改善策を含む）	・事業用地において、周辺地域住民に対する地域活性化イベントの積極的な展開や、観光客や市民が利用できる空間整備により、魅力あるウォーターフロント、賑わい空間を形成する。 ・堺旧港地区内で市民・来訪者が快適で安全に散策できるパブリックアクセスの充実を図ることで、回遊性を高める。 ・事業用地から大浜公園までの歩行者動線を円滑な歩行者動線の確保に向けて検討する。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 官民連携による取組みの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		○	—	—	—
B. 目標を定量化する指標		○	—	—	—
C. 目標値		○	—	—	—
D. その他(交付期間、交付限度額)	○		平成30年度～平成32年度 680.4百万円	平成30年度～令和4年度 837.4百万円	道路管理者、交通管理者との協議において、設計内容に変更が生じ、その変更協議に想定以上の時間を要したこと、民間施設の設計の進捗に遅れが生じたため。 また、当初計画作成以降、本市において当エリアの方向性を示すビジョン等を作成し、情報板事業の見直しを行ったため。

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	大浜北6・11号線 大浜北8号線	93.0 13.5	約300m 約80m	93.0 13.5	約300m 約80m			●	
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	歩行者通路 連絡橋 情報板	381.3 163.0 12.5	約1,650㎡ 約224㎡ 5箇所	484.9 228.8 -	約1,500㎡ 約290㎡ -	当初計画作成以降、本市において当エリアの方向性を示すビジョン等を作成し、当事業の見直しを行った	なし	●	
高質空間形成施設	緑地	17.2	約2,400㎡	17.2	約2,400㎡			●	
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業									
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
大浜北町市有地公共施設整備事業(下水道)			27	27	平成29年度～平成32年度	平成29年度～令和4年度		
大浜北町市有地民間施設整備事業(ハード)			-	-	平成29年度～平成32年度	平成29年度～令和4年度		
大浜北町市有地公共施設整備事業(ソフト)			-	-	平成32年度～	令和4年度～		
堺泉北港海岸高潮対策事業			4,810	4,810	平成28年度～平成30年度	—		
大浜体育館建替え整備運営事業			-	-	平成30年度～	—		

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの有無	
															あり	なし
指標1	親水性護岸の利用者数	人/年	親水護岸及びデッキ連絡橋入口部13地点の「入」の歩行者通行量(平日1日、休日1日、特異日1日(9時間(9-18時)))	—		16,425	H28	58,760	R4	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み	●	361,846	事後評価	●	
指標2	堺旧港の認知度・魅力度	%	堺旧港周辺イベントでのアンケート調査	—		27	H29	50	R4	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み	●	57.4	事後評価	●	
指標3	堺駅の乗降客数	千人/年	堺市統計書R5「R4年度」堺駅(定期外)の乗降客数	—		5,978	H27	7,174	R4	モニタリング			モニタリング			●
										事後評価	確定見込み	●	5,517	事後評価	×	
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み			事後評価		
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み			事後評価		

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	歩行者通路、連絡橋整備のほか、関連事業である民間施設(一部)の開業、大浜体育館建替整備、親水護岸整備をしたことにより、利用者が増えたと考える。	
指標2	関連事業である民間施設(一部)の開業したほか、大浜体育館での大会やイベント開催、親水護岸での社会実験の実施等による情報発信を行うことにより認知度が向上したと考える。	
指標3	新型コロナウイルス感染症の影響により、発生以降乗降客数が大幅に減少し、現状も回帰できていない状況であるが、指標1、2が十分に達成できていることから、今後も引き続き、民間事業者と連携しながら魅力創出、情報発信等に取組む。	
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2ー② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標		単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
					基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標2								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標3								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2ー参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
—	予定どおり実施した	—	
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
—	予定どおり実施した	—	
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
堺市中心市街地活性化協議会の活動への支援	予定どおり実施した	堺市中心市街地活性化協議会による 中心市街地におけるイベント等の実施	堺市中心市街地活性化協議会:中心 市街地活性化法に基づく協議会	引き続き、堺市中心市街地活性化協議会への支援等を通じて、中心市街地の活性化及びにぎわいの創出に努める。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
—	ベイエリア推進担当、堺駅エリア整備担当	令和6年12月～令和7年1月	堺駅エリア整備担当

添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標○		指標○	
指 標 名		親水性護岸の利用者数		堺旧港の認知度・魅力度					
種別	事業名・箇所名	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見
基幹事業	道路	◎	歩行者通路、連絡橋整備のほか、関連事業である民間施設(一部)の開業、大浜体育館建替整備、親水護岸整備をしたことにより、利用者が増えたと考える。	○	関連事業である民間施設(一部)が開業したほか、大浜体育館での大会やイベント開催、親水護岸での社会実験の実施等による情報発信を行うことにより認知度が向上したと考える。				
	地域生活基盤施設 歩行者通路、連絡橋	◎		◎					
	高質空間形成施設 緑地	—		○					
提案事業									
関連事業	大浜北町市有地公共施設整備事業(下水道)	—		—					
	大浜北町市有地民間施設整備事業(ハード)	◎		◎					
	大浜北町市有地公共施設整備事業(ソフト)	—		—					
	堺泉北港海岸高潮対策事業	◎		◎					
	大浜体育館建替え整備運営事業	◎		○					

※指標改善への貢献度
◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
—：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	堺旧港地区内の回遊性を高め、市民、来訪者が海を眺めながら、快適で安全に散策できるパブリックアクセスの充実を図る。	魅力的な賑わい空間の形成の取組を行い、公民連携で情報発信等引き続き進める。		
-------	--	---------------------------------------	--	--

添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標3			指標○			指標○			指標○		
指 標 名		堺駅の乗降客数											
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路	△	新型コロナウイルス感染症の影響により、発生以降乗降客数が大幅に減少し、現状も回帰できていない状況であるが、指標1, 2が十分に達成できていることから、今後も引き続き、民間事業者と連携しながら魅力創出、情報発信等に取り組む。	Ⅲ									
	地域生活基盤施設 歩行者通路、連絡橋	△											
	高質空間形成施設 緑地	－											
提案事業													
関連事業	大浜北町市有地公共施設整備事業(下水道)	－											
	大浜北町市有地民間施設整備事業(ハード)	△											
	大浜北町市有地公共施設整備事業(ソフト)	－											
	堺泉北港海岸高潮対策事業	△											
	大浜体育館建替え整備運営事業	△											

※目標未達成への影響度

- × × : 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
 × : 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
 △ : 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
 － : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ : 内的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅱ : 外的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅲ : 外的な要因で、予見が不可能な要因。
 分類Ⅳ : 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	堺旧港周辺地区を含む堺都心部において、引き続き来訪目的となる都市魅力の創出に向けた取組を進める。				
------------------	--	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5ー① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
—	ベイエリア推進担当、堺駅エリア整備担当	令和7年1月	堺駅エリア整備担当

添付様式5ー② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
市民等が訪れる魅力ある憩い・賑わいの場	関連事業である民間施設の開業(一部)や大浜体育館でのイベント、親水護岸での社会実験の実施等により、魅力ある憩い・賑わいの場が図られた。	—	—
堺旧港護岸により海と市街地が分断	海と市街地を接続する連絡橋を設置することにより、海と市街地との連続性が確保された。	—	
事業用地と大浜公園が幹線道路で分断	道路整備、歩行者通路の整備により、大浜公園への歩行者動線が確保された。	事業用地から大浜公園までの歩行者動線の利便性や安全性に乏しい状況が続いている。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5ー③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	魅力ある賑わい空間の形成	大浜北町市有地において、周辺地域住民に対する地域活性化イベントの積極的な展開や、観光客や市民が利用できる空間整備により、魅力あるウォーターフロント、賑わい空間を形成する。	民間事業者における企画イベント、都心部、堺旧港で行われるイベントとの連携、親水護岸の公共空間を活用した取組
	堺旧港護岸により海と市街地が分断	堺旧港地区内で市民・来訪者が快適で安全に散策できるパブリックアクセスの充実を図ることで、回遊性を高める。	堺駅から堺旧港までのアクセス改善（視認性向上、歩行者動線の安全性確保等）

B欄 改 善 策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	事業用地と大浜公園が幹線道路で分断	円滑な歩行者動線の確保に向けて検討する。	円滑な歩行者動線の検討等

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5ー③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。（チェック欄）

✓	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題（都市再生整備計画）を再確認した。
✓	事業の実施過程の評価（添付様式3）を再確認した。
✓	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用（添付様式4ー②）を再確認した。
✓	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針（添付様式4ー③）を再確認した。
✓	残された課題や新たな課題（添付様式5ー②）を再確認した。

添付様式5ー参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5－④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2－①、2－②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2－①、2－②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指 標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度		年度							予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	親水性護岸の利用者数	人/年	16,425	H28	58,760	R4	確定 見込み	○	361,846	○	あり なし	→ R7.11	親水護岸入口部13地点の「入」通行者を平日、祝日、特異日の9時から18時で計測	—
指標2	堺旧港の認知度・魅力度(アンケート)	%	27	H29	50	R4	確定 見込み	○	57.4	○	あり なし	→ R7.11	堺旧港周辺イベント等でのアンケート調査を実施	—
指標3	堺駅の乗降客数	千人/年	5,978	H27	7,174	R4	確定 見込み	○	5,517	×	あり なし	→ R9.6	令和8年度版堺市統計書におけるR7年度の堺駅(定期外)の乗降客数	—
指標4							確定 見込み				あり なし	→		
指標5							確定 見込み				あり なし	→		
その他の数値指標1				H			確定 見込み					→		
その他の数値指標2				H			確定 見込み					→		
その他の数値指標3				H			確定 見込み					→		

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに事後評価原案を掲載	令和7年3月3日～3月17日	令和7年3月3日～3月17日	担当部署への提出、郵送、FAX、電子メール	堺駅エリア整備担当
広報掲載・回覧・個別配布	-				
説明会・ワークショップ	-				
その他	担当者窓口で事後評価原案を閲覧	令和7年3月3日～3月17日	令和7年3月3日～3月17日		

住民の意見	なし
-------	----

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	—	—	—	—	—
その他の委員	—				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	—
	成果の評価	—
	実施過程の評価	—
	効果発現要因の整理	—
	事後評価原案の公表の妥当性	—
	その他	—
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	—
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	—
	フォローアップ	—
	その他	—
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	—
その他		R9年度フォローアップ時に審議予定

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
—	—	—
—	—	—

有識者の意見	—
--------	---

都市再生整備計画

さかいきゆうこうしゅうへん

堺旧港周辺地区

おおさかふ

大阪府

さかいし

堺市

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	おおさか府 大阪府	市町村名	さかいし 堺市	地区名	堺旧港周辺地区	面積	34 ha
計画期間	平成 30 年度 ～ 令和 4 年度	交付期間	平成 30 年度 ～ 令和 4 年度				

目標

＜大目標＞ 都心での海辺文化・賑わいの再興

目標1：歴史・文化資源が豊富な堺旧港に隣接している特性を活かし、多くの市民・来訪者が海辺で憩い、海を眺めることができる非日常的な交流空間を形成する。

目標2：都心地域内での海辺の立地特性を活かし、民間事業者による商業機能の導入による魅力的な賑わい空間を創出する。

目標3：地区内の回遊性を高め、市民・来訪者が海を眺めながら、快適で安全に散策できるパブリックアクセスの充実を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・堺港の歴史は古く、15世紀以降、貿易船が盛んに往来した。18世紀初頭の大和川付替工事により、堺港は衰退した。その後、18世紀末に、改修工事が行われた。これが現在の堺旧港である。

・堺旧港の突端に位置する旧堺燈台は、明治10年に建築された建物である。現地に現存する我が国最古のもののひとつとして、昭和47年に国の史跡に指定されている。

・大浜公園は、明治12年に開園した堺市営で最も古い公園で、明治36年には第5回内国勧業博覧会の会場として堺水族館が設置されるなど、当時は関西有数のレジャー地として賑わった歴史ある公園である。

・大浜体育館は、昭和46年に堺市が体育館として初めて建設したもので、柔道場と剣道場があり、多くの武道大会が開催されているが施設の老朽化により、利用ニーズに応えることが困難になってきている。市民が安全で快適にスポーツに親しめる体育館として建替えるとともに、市の武道振興の拠点とし武道館を併設整備するため、大浜体育館建替え整備運営事業に取り組んでいる。

・大浜北町市有地は、昭和58年度策定の構想において、国際文化・商業施設に位置づけられ、その後、事業用地として用地買収に着手した。平成6年には現状(用地買収率97.5%)となるが、暫定的な土地利用にとどまっている。この市有地を活用し、歴史ある堺の港ならではの魅力あるウォーターフロントの形成を目指し、商業施設や公共施設を一体的に整備する大浜北町市有地活用事業に取り組んでいる。

課題

・本地区は南海本線堺駅から徒歩圏に位置し、周辺に多様な歴史・文化資源を有しつつも、市民等が訪れる魅力ある憩い・賑わいの場とはなっていない。

・堺旧港の護岸によって海と市街地が分断され、市民や来訪者が気軽に安全に海に近づくことが困難な状況である。

・大浜北町市有地と大浜公園が幹線道路で分断されており、歩行者の利便性や安全性に乏しい。

将来ビジョン(中長期)

○堺市マスタープラン「さかい未来・夢コンパス」(平成23年3月策定)

【都心地域のまちづくりの方向性】

堺東周辺地域と並ぶ都心地域の核であり、世界に開かれた観光インバウンド・国際交流などの玄関口として、商業・業務・居住機能を集積・強化するとともに、堺旧港や大浜公園の賑わいづくりなどにより、集客・交流機能を向上させます。

○堺市都市計画マスタープラン(平成24年12月策定)

【都心の活性化と魅力づくり】

・堺旧港およびその周辺部においては、海辺の歴史・文化や水・緑を生かした魅力ある都市空間の形成と商業・業務・文化・居住などの都市機能の集積を図るため、親水空間の整備とその周辺整備を推進するとともに、新たな都市機能の誘因を促進することにより、市民に憩いと交流の場、まちの賑わいを創出します。

○堺 都心のまちづくりプラン(平成24年7月策定)

【まちの将来イメージ】

・まちの将来像を「都心地域の西の玄関口としての賑わい・交流の機能充実と、海に開かれた水辺空間を活かした歴史と潤いの感じられるまちづくりにより、市内外から訪れる人で賑わうまち」とします。

○堺臨海部再生・創造ビジョン(平成24年8月策定)

【取り組み内容】

・市街地との近接性の向上や歴史文化資源の更なる活用、世界と交易のあった中世のみなと機能の再興、景観への配慮、回遊性を高めることで、都心地域での市民・来訪者が気軽に海と触れ合え、みなとや歴史文化の香りが味わえる賑わい空間の形成をめざします。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
親水性護岸の利用者数	人/年	親水性護岸の利用者数	海辺での憩い、海を眺めることができる交流空間を形成することにより、親水性護岸の利用者数アップにつながる。	16,425	平成28年度	58,760	令和4年度
堺旧港の認知度・魅力度(アンケート)	%	毎年実施するイベント参加者への堺旧港認知度アンケート	賑わい空間の形成により、“堺旧港”の認知度のアップにつながる。	27	平成29年度	50	令和4年度
堺駅の乗降客数	千人/年	1年間の南海本線堺駅の乗降客数のうち、定期利用を除いた数	南海本線堺駅から、本地区へのアクセス性を改善し、旧堺港や大浜公園等への来訪者が増加することにより、賑わい空間の形成につながる。	5,978	平成27年度	7,174	令和4年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1(歴史・文化資源が豊富な堺旧港に隣接している特性を活かし、多くの市民・来訪者が海辺で憩い、海を眺めることができる非日常的な交流空間を形成) ・本地区は堺旧港の護岸によって海と市街地が分断され、来訪者が安全に海に近づくことはできない。また幹線道路により市街地とも分断されているため、歩行者の利便性や安全性に乏しい。このため堺駅から大浜公園までのパブリックアクセスとしての歩行者動線の確保や、市道上空を占用し、大浜北町市有地と護岸を接続する橋を設置することで、多くの市民・来訪者が海辺で憩い、海を眺めることができる交流空間の形成を図る。	地域生活基盤施設(歩行者通路):基幹事業 地域生活基盤施設(連絡橋):基幹事業 道路(周辺道路):基幹事業
整備方針2(都心地域内での海辺の立地特性を活かし、民間事業者による商業機能の導入による魅力的な賑わい空間の創出) ・民間事業者による商業施設導入をめざす大浜北町市有地活用事業において、周辺地域住民に対する地域活性化イベントの積極的な展開や、観光客や市民が利用できる空間整備により、魅力あるウォーターフロント、賑わい空間を形成する。	大浜北町市有地 民間施設整備事業:関連事業
整備方針3(地区内の回遊性を高め、市民・来訪者が海を眺めながら、快適で安全に散策できるパブリックアクセスの充実) ・市民、来訪者の誰もが、快適で、安全に散策できるパブリックアクセスを充実すべく、堺駅から大浜公園までのパブリックアクセスとしての歩行者動線の確保、大浜北町市有地と堺旧港護岸を接続するため、市道上空を占用する橋を設置する。これにより、南海堺駅から本地区へのアクセス性、市街地と海との連続性を確保する。	地域生活基盤施設(歩行者通路):基幹事業 地域生活基盤施設(連絡橋):基幹事業 道路(周辺道路):基幹事業
その他 ○中心市街地活性化に向けた地域の取組み 中心市街地活性化協議会が設置され、平成27年3月27日に本地区を含む区域を対象として、中心市街地活性化基本計画を策定し、認定を取得した。また、協議会が主体となって地域の活性化に向けた取組みを実施しており、こうした活動への支援等を通じて、継続的な賑わいの創出に努める。	

交付対象事業費	837.4	交付限度額	334.9	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		大浜北6・11号線	堺市	直	約300m	29	32	30	4	93.0	93.0	93.0		93.0
道路		大浜北8号線	堺市	直	約80m	29	32	30	4	13.5	13.5	13.5		13.5
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設														
地域生活基盤施設		歩行者通路	堺市	直	約1,500㎡	29	32	30	4	484.9	484.9	484.9		484.9
地域生活基盤施設		連絡橋	堺市	直	約290㎡	29	32	30	4	228.8	228.8	228.8		228.8
高質空間形成施設		緑地	堺市	直	約2,400㎡	29	32	30	4	17.2	17.2	17.2		17.2
高次都市施設														
中心拠点誘導施設														
連携生活拠点誘導施設														
生活拠点誘導施設														
高齢者交流拠点誘導施設														
既存建造物活用事業(高次都市施設)														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
バリアフリー環境整備事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地	拠点開発型													
総合整備	沿道等整備型													
事業	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										837.4	837.4	837.4	0.0	837.4

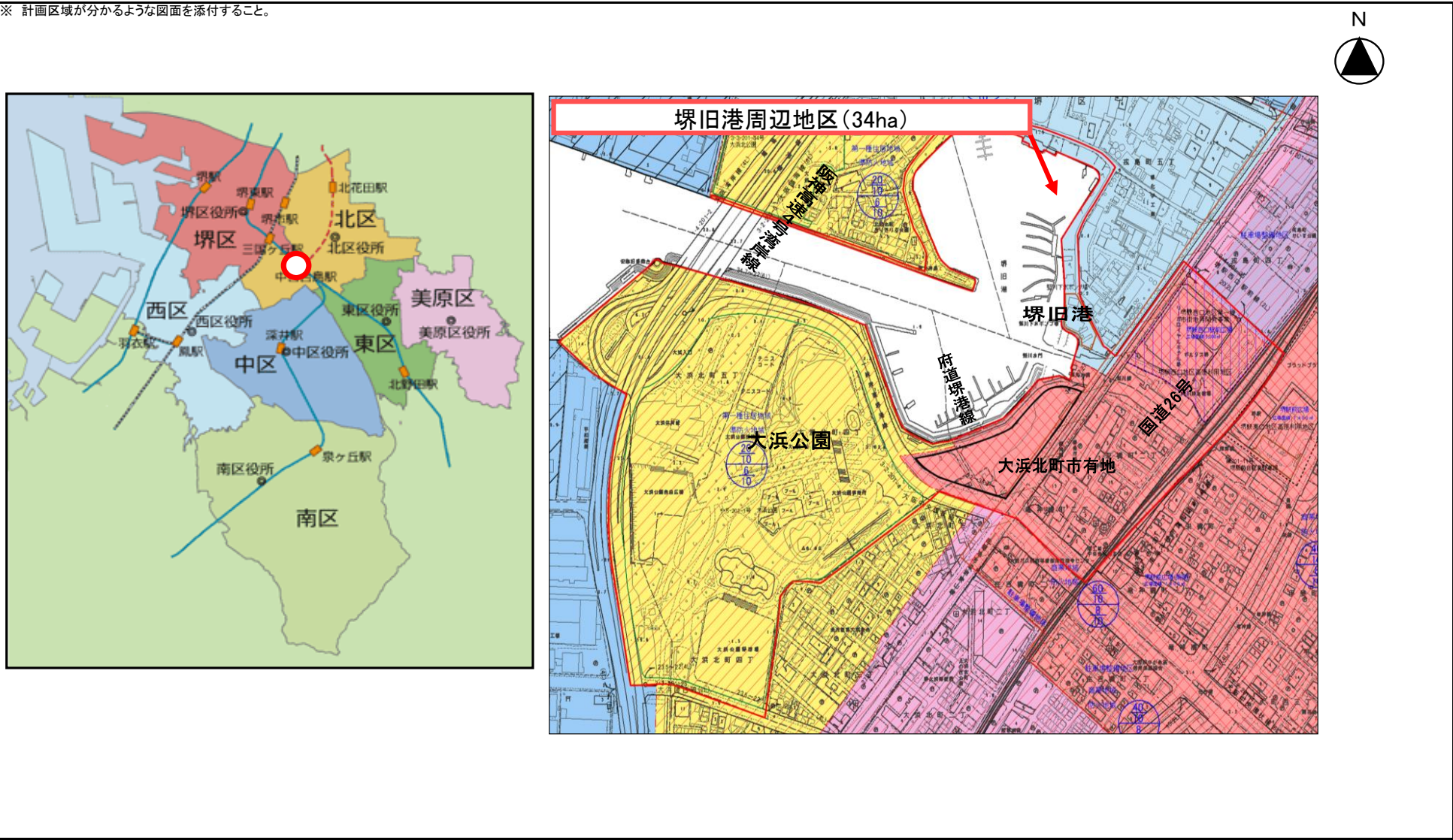
事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分 うち民負担分		交付対象 事業費
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造 支援事業													
事業活用調 査													
まちづくり活 動推進事業													
合計									0	0	0	0	

[illegible]

都市再生整備計画の区域

堺旧港周辺地区(大阪府堺市)	面積	34 ha	区域	堺市堺区 大浜北町3～5丁、大浜西町、北波止町、戎島町3～5丁、栄橋町1・2丁、竜神橋町1・2丁
----------------	----	-------	----	--

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



堺旧港周辺地区(大阪府堺市) 整備方針概要図

目標	<大目標> 都市での海辺文化・賑わいの再興 目標1: 多くの方々が海辺で憩える非日常的な交流空間の形成 目標2: 民間事業者による商業機能の導入による魅力的な賑わい空間の創出 目標3: 地区内の回遊性を高め、快適で安全に散策できるパブリックアクセスの充実	代表的な指標	親水性沿岸の利用者数 (人/年)	16,425 (28年度) → 58,760 (R4年度)
			堺旧港の認知度アンケート (%)	27 (29年度) → 50 (R4年度)
			堺駅の乗降客数 (千人/年)	5,978 (27年度) → 7,174 (R4年度)

